

はりま 第二回 桜シンポジウム

桜が咲きほこる美しい播磨の山里を目指して...

harima
SAKURA
symposium
2020

「桜は人で咲く」といわれるように人と深い関わりのある樹木です。しかし街を歩いていると手入れ不足の可哀想な桜をたくさん目にすることがあります。

今回、桜シンポジウムの基調講演をお願いした樹木医の河合浩彦さんは長年桜の保全育成業務にたずさわり、多くの手法と技術を確立されました。その高度な知識と手法を惜しみなく私達に伝授していただいています。このように私達は兵庫県樹木医会のご指導のもとで、播磨地域の小学生・中学生・高校生、そして自治体・事業所・諸団体や地域の皆さんがこの「はりま桜シンポジウム」がご縁で繋がります。播磨の各地で桜の育成活動が始まることを願っています。

日時：2020年3月21日(土) 13:00～16:00

会場：姫路市教育会館 3階ホール

姫路市飾磨区清水2丁目128
(山陽電車飾磨駅東口から徒歩10分)

- オープニング：竹箒会（尺八と琴のグループ）「春の海・ふるさとの風」
- 基調講演 演題「枝と根っこをバツサリ・・・！ 樹木医が語る桜の育て方」
講師：特定非営利活動法人兵庫県樹木医会 理事長・樹木医 河合 浩彦 氏
- 活動の発表：兵庫県立夢前高等学校パティシエ部 1・2年生の皆さん
「桜をモチーフにしたお菓子の製作」の取り組み
- 事業計画の発表：播磨地域の桜の現状調査・次年度の取り組み ほか

主催：中はりま桜の名所づくり連絡協議会

〒670-0028 姫路市岩端町122番地1 フィールトレイン107号室 (NPO 法人スローソサエティ内)

Tel: 090-3615-2996 (事務局 三山) E-mail: heartec3mt@yahoo.co.jp

共催：特定非営利活動法人兵庫県樹木医会・中播磨地域ビジョン委員会・NPO 法人はりま里山研究所

後援：兵庫県中播磨県民センター・兵庫県西播磨県民局・神戸新聞社・姫路市・姫路市教育委員会・

福崎町・市川町・神河町・一般財団法人姫路市まちづくり振興機構・NPO 法人スローソサエティ

※この事業は、兵庫県中播磨県民センターの「地域づくり活動応援事業」の助成を受けています。

harima SAKURA symposium

「中はりま桜の名所づくり連絡協議会」は、播磨をこよなく愛する人々の集まりです。

日本各地の桜についていわれていることですが、人の手によって植えられた桜は普段から目を配りながら手入れをすることが大切です。私たちは兵庫県樹木医会の諸先生のご指導のもとで、播磨地域の皆さんと連携しながら、「植えて終わり」ではなく「植えて育てる」を合言葉に幼・小・中・高校生にもこの活動への参加を呼びかけ、桜の成長と共に中播磨の発展に寄与することが出来る人材を育てます。

また、この活動を通して自然に触れ合うことで森林がかかえている問題点に気づき、「自然豊かな森林は大きなダム」といわれているように、針葉樹と広葉樹のバランスのとれた保水力のある本来の自然林の姿に少しでも戻して、近年全国規模で発生している豪雨による洪水災害に耐えることが出来る里山を目指します。中播磨からこの事業を始め、西播磨・東播磨・北播磨と活動の範囲を拡大し、将来的には「自然豊かな兵庫県」になることが私たちの願いです。

● オープニング：「春の海・ふるさとの風」 竹箏会の皆さん（尺八と琴のグループ） 都山流尺八楽会兵庫県支部第4地区所属 代表者：篠原 欣山 氏 連絡先：赤穂市加里屋駅前町 33-11 Tel 0791-43-4598



私たちは赤穂市を拠点にし、播磨地方中心の各種イベントでのグループ活動や賛助活動・各種施設の慰労演奏など、また定期演奏会を開催して多くの皆さんにお聴きいただいています。

演奏 尺八：篠原 欣山・佐藤 款山・野村 典山

琴：三木 民子・清原 尚子・三浦 彰子・児玉 明美（敬称・読み仮名 略）

● 基調講演 題目：「枝と根っこをバッサリ・・・！ 樹木医が語る桜の育て方」

河合 浩彦（かわいひろひこ）氏 特定非営利活動法人兵庫県樹木医会 理事長・株式会社対馬造園店に52年間勤務、現顧問。



昭和18年（1943年）山口県生まれ。4歳のときに父親が買ってきた桃の種を植え、芽が出るまで毎日観察をしながら育てる。その樹が7年後に実を付けたことがきっかけになり、中学生で植木屋になると決心。1967年東京農業大学卒業。米国で造園技術を学び、神戸市内の造園会社に就職。1981年頃から大木移植や巨樹・巨木の治療に関わる。1991年に資格認定が始まった樹木医の資格を1993年に取得し、神戸市内で初めての樹木医となる。桜の育成に関しては青森県弘前公園でソメイヨシノの古木再生法を独自で学び、王子動物園の桜を再生する為の主幹新旧切り替え剪定や深植え対策をする。その成果を「王子公園方式」と称して各地で桜の育成・普及活動に努めると共にその知識と経験を後進に伝えることにも力を入れている。

● 特定非営利活動法人兵庫県樹木医会の活動



平成6年、任意団体「兵庫県樹木医会」を結成し樹木医活動を開始。同27年「兵庫県樹木医会」をNPO法人として新たな活動を開始。樹木の治療に留まらず、健全な樹木育成の為に各地で研修会を開催。また「各種講演会」の開催による一般の方への知識と技術普及にも努める。「明石公園桜守講習会・明石公園桜守ボランティア」や神戸市西区「桜が丘自治会桜講演会・桜守グループ」など多方面で桜の育成の指導をしている。（画像は、樹木医会専任講師による樹幹内部腐朽空洞診断の様子）

● 活動の発表：「桜をモチーフにしたお菓子の製作」の取り組み 兵庫県立夢前高等学校 パティシエ部



現在1年生2名、2年生7名が所属し、製菓を中心に様々な活動を行っている。文化祭では手作りお菓子の販売やカフェ運営、秋には全校生徒の前でパワーポイントと実物展示による部活動成果発表などを行う。また、みかしほ学園、神戸製菓専門学校、夢前夢工房、地域のパティシエさんの助言・協力の元、地元産米粉を使用したお菓子の製作・研究・開発に取り組んでいる。2017年度は「家庭で作れる米粉マフィンレシピ」を考案し、パンフレットを製作。2018年度は「泥りんピック」にて米粉のフィナンシェ・ガレットを販売した。2019年度は、米粉シフォンケーキの研究と、桜をモチーフにした米粉菓子の製作に取り組んでいる。

● 私たちの今後の活動計画

- ・次年度より「はりま桜の名所づくり連絡協議会」に団体名を改称し、活動地域を、中播磨地域からさらに西播磨地域へと拡大する。
- ・特定非営利活動法人兵庫県樹木医会と連携をとりながら、各地域の花や緑のまちづくりで活躍中の諸団体とネットワークを構築すると共に、各地で新たな団体をも立ち上げる。
- ・次期会長に米谷 啓和氏が就任。熊谷 哲会長は顧問に就任する。

● 次期会長：米谷 啓和（こめたにひろかず）

NPO 法人スローソサエティ理事長・米谷紙管製造株式会社代表取締役社長



昭和39年、姫路市生まれ。東京大学文学部卒業。株式会社PHP研究所で書籍編集者を経て、米谷紙管製造株式会社に入社。平成14年社団法人姫路青年会議所理事長。平成16年「多様なつながりに生かされたスローソサエティの実現」をスローガンに社団法人日本青年会議所の会頭を務める。「100万人のキャンドルナイト」呼びかけ人代表、NPO 研修・情報センター「協働コーディネーター養成講座」上級修了、姫路駅北駅前広場整備推進会議委員、姫路市市民活動・協働推進事業計画検討懇話会委員、「官民連携のための実践型まちづくり人材養成講座とネットワーキング」協働事業などを経て、現在はJR姫路駅前広場及びまちなか公共空間の管理、運営をマネジメントする「一般社団法人ひとネットワークひめじ」の理事を務めると共に、姫路市立小中学校適正規模・適正配置審議会委員、姫路城西側エリアのみらい構想策定プロジェクト「城の西エリアマネジメント」準備会の代表世話人。

